

メディアプレーヤー

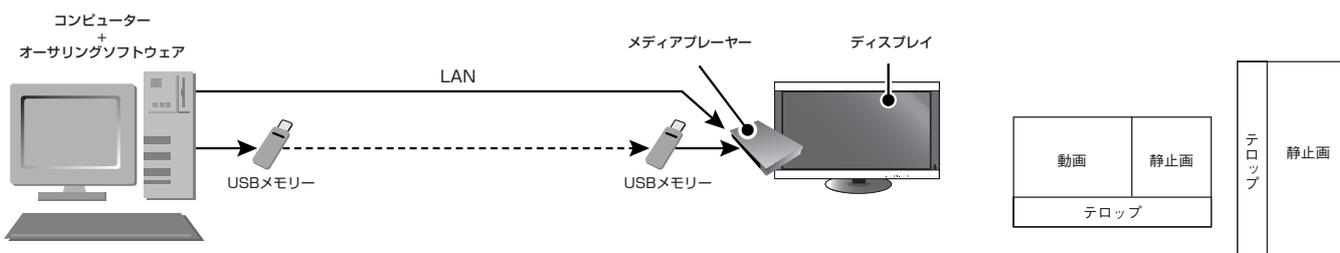
(MP-01)

取扱説明書 Ver.1.10

はじめに

●メディアプレーヤーとは

画像や音声などのコンテンツ(素材)を組み合わせで作成した番組を、ディスプレイ上で表示するためのツールです。番組は、添付のオーサリングソフトウェアによって作成し、LANまたはUSBメモリーを用いて配信されます。



●オーサリングソフトウェアとは

レイアウト設定

動画、静止画、テロップを組み合わせ希望のレイアウトを設定できます。

スケジュール機能

時間を決めて番組を表示する機能です。毎日の番組スタート時間、終了時間または特定日時の番組スタート時間、終了時間が設定できます。

配信機能

USBメモリー経由または、最大20台までのメディアプレーヤーへLAN経由で番組データを配信します。

安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---

図記号の意味は次のとおりです。

	絶対におこなわないでください。		必ず指示に従いおこなってください。
	絶対に分解・修理・改造はしないでください。		必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	高圧注意		

●ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告



万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



故障(画面が映らないなど)や煙、変な音・においがするときは使わない

火災・感電の原因になります。



裏ぶたをはずさない

内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因になります。



傾斜面や不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてけがの原因になります。



電源コードやACアダプターを傷ついたり布でくるんだりしない

重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないでください。またACアダプターを布などでくるまないでください。火災・感電の原因になります。



キャビネットを破損したときは使わない

火災・感電の原因になります。



異物をいれない

特にお子さまにご注意
火災・感電の原因になります。



ポリ袋で遊ばない

特にお子さまにご注意
本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になります。



修理・改造をしない

けが・火災・感電の原因になります。



正しい電源電圧で使用する

指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因になります。

本機に添付している電源コードとACアダプターは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。



指定のACアダプター、電源コード、バッテリーを使用する

指定の機器以外を使用すると火災・感電の原因になります。



落下させない、衝撃を与えない

本体やACアダプターの内部部品が破損する場合があります。火災・感電の原因になります。



ACアダプターのインレット部分(AC入力側)にストレスを加えない。

火災・感電の原因となります。



風呂場や水のかかるところに置かない

水などが本体の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因になります。



雷が鳴り出したら、電源コード・アンテナ線などには触れない

雷が鳴り出したら電源コード・アンテナ線には触れないでください。感電の原因になります。

注意

設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。



布などで通風孔をふさがない



横倒し、伏せ置き、さかさまにしない



直射日光や熱器具のそばに置かない



屋外での使用禁止

本商品は屋内での使用を想定しています。屋外では使用しないでください。故障の原因となることがあります。



車載用禁止

車載用など移動用途には使用できません。故障の原因になることがあります。



接続線をつけたまま移動しない

火災・感電の原因になります。電源プラグや機器間の接続線ははずしたことを確認のうえ、移動してください。



湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない

⚠ 注意



狭い所に置かない

設置禁止



電源プラグを持って抜く

プラグを持つ

コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因になります。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。



電源プラグを奥までさしこむ

抜けかかり禁止

電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。



しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。

しっかり差し込んで



プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグを抜く感電の原因になります。



プラグを抜く

長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを抜く。



通気口の掃除

キャビネットの通気口を掃除する

キャビネットの通気口がごみやほこりでふさがると故障の原因となることがあります。1年に一度はキャビネットの通気口を掃除してください。



内部掃除

1年に一度は内部掃除を

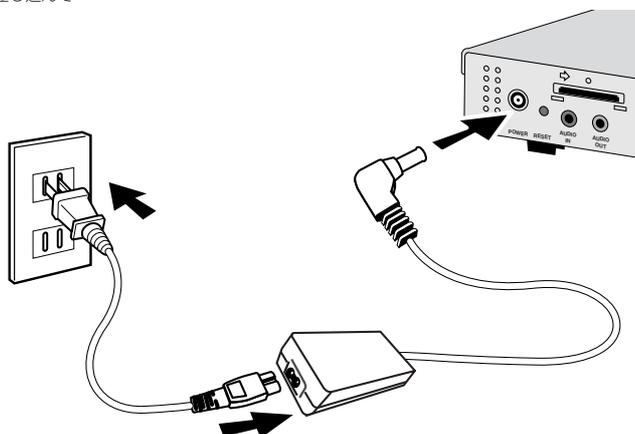
内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。内部掃除は販売店にご依頼ください。



ほこりを取る

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

火災の原因になります。1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。



メディアプレーヤーの上手な使い方



プラグを抜く

本体のお手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



使用禁止

本体を傷めないために

ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹼などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。(化学ぞうきんご使用の際は、その注意書きに従ってください。) また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。本体が変色したり、変質するなどの原因となります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

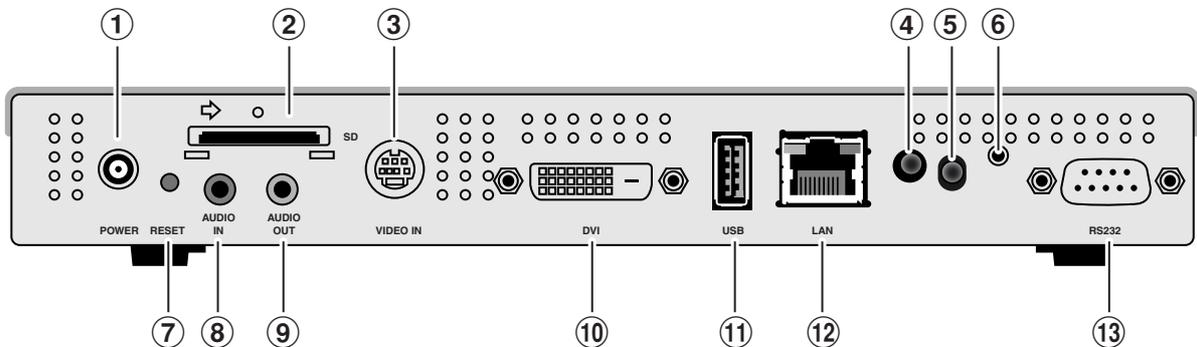
Intel及びIntel pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationの商標です。SDロゴは商標です。

Microsoft®、MS、Windows®、PowerPoint®、Windows Media®、Internet Explorer®、Internet Explorer®のロゴは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

付属品一覧

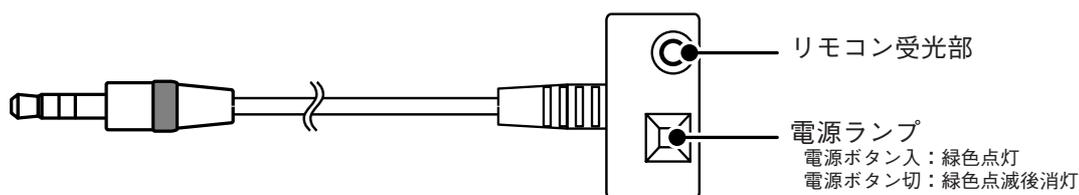
- ・メモリーカード
- ・メモリーカード用プロテクター
- ・ワイヤレスリモコン
- ・単3形乾電池×2
- ・リモコン受光部延長ケーブル
- ・両面テープ(リモコン受光部延長ケーブル用)
- ・信号ケーブル(DVI-D-DVI-Dケーブル)
- ・オーディオケーブル
- ・USB延長ケーブル
- ・取り付け金具×2
- ・電源コード
- ・ACアダプター(DXW1225N-S0068Z)
- ・セットアップガイド
- ・ユーティリティーディスク
(添付ソフトウェア&取扱説明書)
- ・保証書

各部の名称

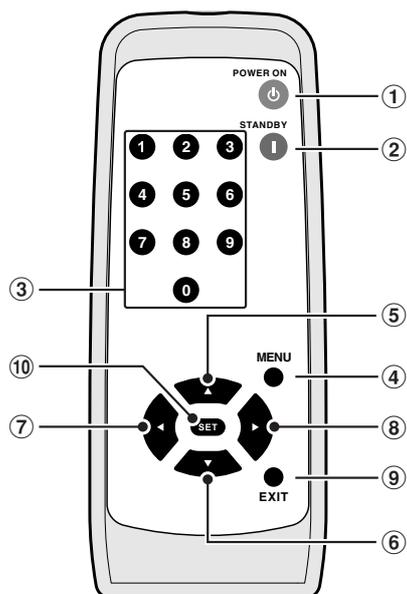


- ① DC電源入力コネクタ
付属のACアダプターを接続します。
- ② メモリーカード用コネクタ
付属のメモリーカードをセットしてください。
- ③ S端子入力コネクタ
DVDプレーヤーなどの映像機器を接続し、映像機器からの動画をテロップや、静止画と共に配置することができます。Sビデオケーブル(市販)をご使用ください。
- ④ 電源ランプ
電源ボタン入: 緑色点灯
電源ボタン切: 緑色点滅後赤色点灯
- ⑤ リモコン受光部
ワイヤレスリモコンの信号の受光部です。
- ⑥ リモコン受光部延長ケーブル用コネクタ
リモコン受光部が液晶ディスプレイの背面に隠れてしまうときなどに、付属のリモコン受光部延長ケーブルを接続します。リモコン受光部延長ケーブル先端の受光部は付属の両面テープ等で、リモコン操作が可能な位置に固定してください。
- ⑦ リセットボタン
本体がリセットされます。リセットしてもメモリーカード内のデータは消去されません。
- ⑧ オーディオ入力コネクタ
S端子入力コネクタを使用するとき、映像機器からの音声出力を接続します。
- ⑨ オーディオ出力コネクタ
液晶ディスプレイのオーディオ入力コネクタに接続します。
- ⑩ DVI出力コネクタ(DVI-D)
液晶ディスプレイのDVI入力コネクタと接続します。
- ⑪ USBメモリー用コネクタ
番組データをUSBメモリー経由で配信する場合や、内部のファームウェアをアップデートする場合に使用します。
取り付け場所等によってUSBメモリー用コネクタの使用が難しい場合は、付属のUSB延長ケーブルをご使用ください。
- ⑫ LANコネクタ
番組データをLAN経由で配信する場合にLANケーブルを接続します。
- ⑬ RS-232Cコネクタ(D-SUB9ピン)
保守用端子です。使用できません。

リモコン受光部延長ケーブル



リモコン

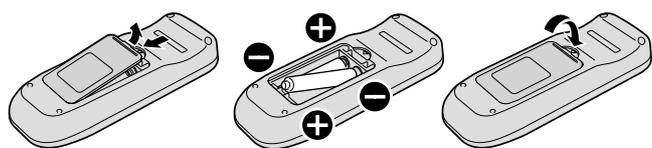


- ①電源ボタン(POWER ON)
電源を入れるときに押します。
- ②スタンバイボタン(STAND BY)
電源を切るときに押します。
- ③数字ボタン
- ④MENUボタン(MENU)
OSD 画面をON/OFF します。
- ⑤、⑥、⑦、⑧方向ボタン
OSD画面で設定項目を選択します。
- ⑨EXITボタン(EXIT)
ひとつ前のOSD 画面に戻ります。
- ⑩SETボタン(SET)
OSD画面で選択した内容を決定します。

リモコンの取り扱い

リモコンに電池を入れる

単3形乾電池2つが必要です。下図に従って電池を入れてください。



1. ふたを矢印のように押しながらかき上げる
2. ケース内部の表示通りに合わせて入れる
3. ふたを元に戻す

注意

- 乾電池は誤った使いかたをすると液もれや破れつすることがありますので、次の点について特にご注意ください。
 - ・ 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れてください。
 - ・ 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
 - ・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
 - ・ 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れがありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

お知らせ

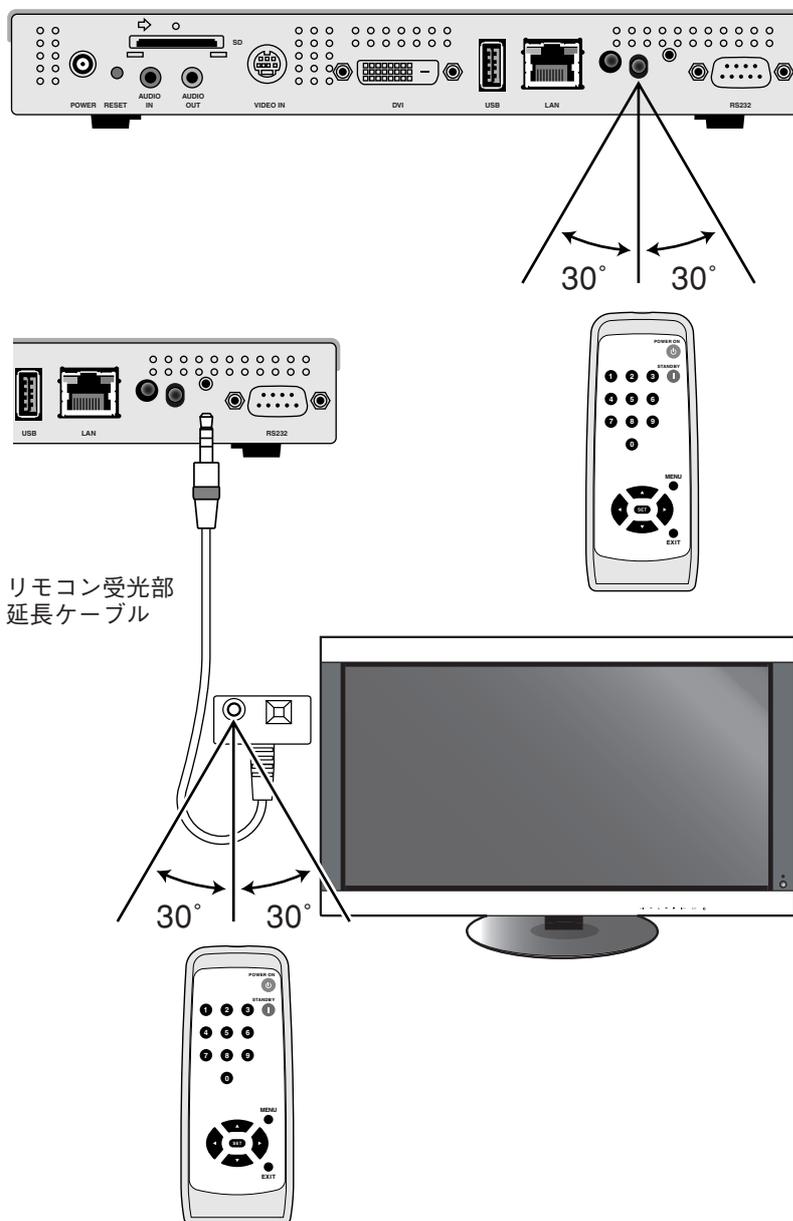
- 付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管しておいてください。

お願い

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- 熱やスチームなどにあてないでください。

リモコンの使用法

リモコンの操作をするときはリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。リモコンは、リモコン受光部正面から7m 以内、上下左右30° では3.5m以内でご使用ください。



お知らせ

- 本体背面のリモコン受光部を使用する場合は、リモコン受光部延長ケーブルは接続しないでください。リモコン受光部延長ケーブルが接続されている場合は、本体背面のリモコン受光部は働きません。本体背面のリモコン受光部でリモコン操作が難しい場合に、リモコン受光部延長ケーブルをご使用ください。
- リモコン受光部延長ケーブルを使用する場合は、先端の受光部をリモコンの光が届きやすい場所に付属の両面テープで固定してください。
- 太陽の直射日光や強い光の当たるところ、または、蛍光灯の近くでは、リモコン操作がきかない場合があります。

接続／設定

LANをご使用の場合は、本章の「接続/設定」完了後、「LAN接続/設定」(16ページ)をご参照ください。

準備

メディアプレーヤーを使用してディスプレイに番組を表示するには、添付のオーサリングソフトウェア、コンピューター、USBメモリー（USBメモリーにより番組を配信する場合）が必要です。

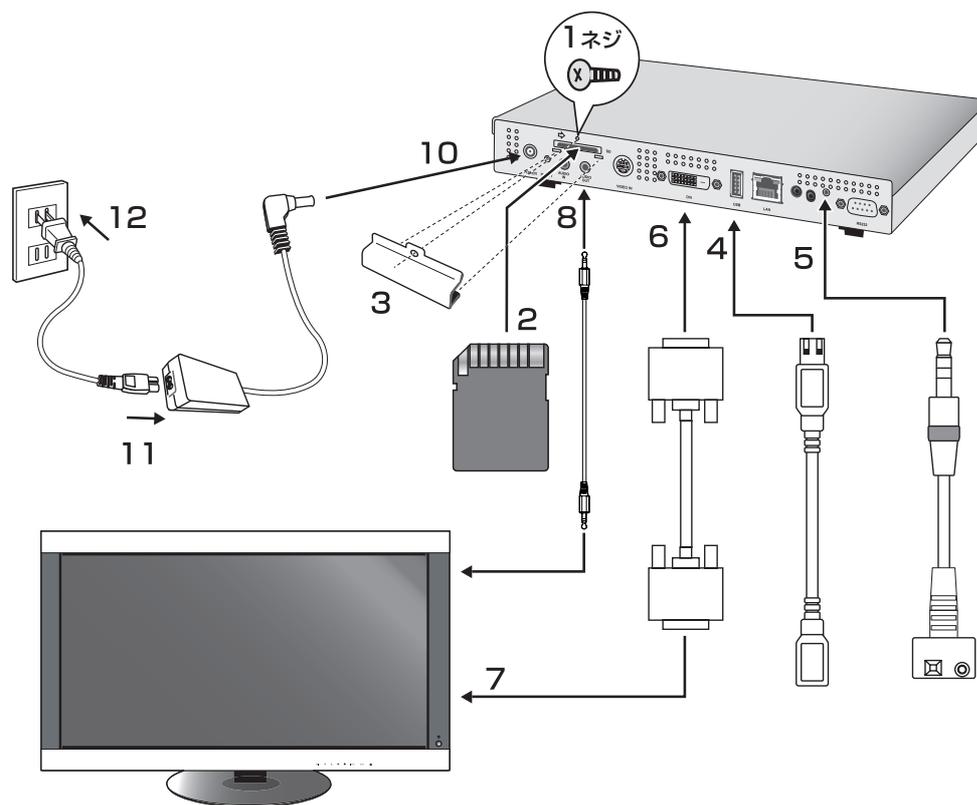
オーサリングソフトウェア

オーサリングソフトウェアは付属のユーティリティディスク内にあります。初回はお使いのコンピューターにオーサリングソフトウェアをインストールしてください。インストールの手順はオーサリングソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

USBメモリー

推奨USBメモリーの情報は、弊社ホームページをご参照ください。暗号化したものは、ご使用になれません。

USBメモリーを使用して番組を配信する場合の接続



1. メモリーカード用プロテクター取り付け穴から、ネジをはずします。
2. 添付のメモリーカードをメモリーカード用コネクタにセットします。

注意

メモリーカードのラベル面が下側になるようにセットしてください。ライトプロテクト(書き込み禁止)スイッチがLOCKになっていないことを確認してください。

3. メモリーカード用プロテクターを、本体から取り外したネジで取り付けます。
4. USBメモリー用コネクタにUSB延長ケーブルをセットします。
(USBメモリーで番組を配信する場合)

接続／設定(つづき)

5. リモコン受光部延長ケーブル用コネクタにリモコン受光部延長ケーブルをセットします。リモコン受光部延長ケーブル先端の受光部は、リモコンの光が届きやすい場所に付属の両面テープで固定してください。

お知らせ

本体背面のリモコン受光部を使用する場合は、リモコン受光部延長ケーブルは接続しないでください。リモコン受光部延長ケーブルが接続されている場合は、本体背面のリモコン受光部は働きません。本体背面のリモコン受光部でリモコン操作が難しい場合に、リモコン受光部延長ケーブルをご使用ください。

6. DVI出力コネクタ(DVI-D)に信号ケーブル(DVI-D-DVI-Dケーブル)を接続します。
7. 信号ケーブルをディスプレイのDVI入力コネクタに接続します。
8. オーディオ出力コネクタにオーディオケーブルを接続し、もう一方の端をディスプレイのオーディオ入力コネクタに接続します。
9. ディスプレイの電源を入れます。ディスプレイの入力信号を「DVI」に設定してください。
10. ACアダプターケーブルのプラグをDC電源入力コネクタにセットします。
11. ACアダプターの電源コネクタに電源コードの一方の端を奥までしっかり差し込みます。
12. 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続します。メディアプレーヤーの電源は自動的に入ります。

警告

- ・ 表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
- ・ 本機には一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外(最大AC240V)でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。
- ・ ACアダプターは必ず本機に付属のACアダプター(DXW1225N-S0068Z)をご使用ください。他のACアダプターを使用すると、発煙・発火の原因となります。
- ・ ACアダプターを接続する場合、コードが折れたり本機の下敷きになったりしないようご注意ください。
- ・ 本機に添付している電源コードとACアダプターは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

お願い

- 電源コンセント周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

お知らせ

メディアプレーヤーを最初に起動するときやリセットをおこなった後には、起動時に「Factory reset is done.」というメッセージが表示される場合があります。

設定

言語設定

初期状態ではOSDメニューの言語は英語に設定されています。日本語の変更するには、リモコンのメニューボタンを押してOSD画面を表示し、「LANGUAGE」(「言語設定」)でOSDの表示言語を日本語に変更してください。

日付/時間設定

メディアプレーヤーで番組を設定したスケジュールどおりに表示するには、「日付/時刻設定」が必要です。リモコンのMENUボタンを押してOSD画面を表示し、日付と時間の設定をおこなってください。

映像出力

表示するディスプレイの最適解像度にあわせて、「映像出力」を設定してください。

その他の設定については「OSD」を参照してください。

お知らせ

● 映像出力の自動OFF機能について

- ・ 本機は、番組未設定の時間帯にはディスプレイ節電のために映像出力をOFFにします。(ご購入時は番組未設定のため、常時OFFになります。)
- ・ 映像出力がOFFの場合でも、リモコンのMENUボタンを押すとOSD画面が表示されます。

番組データの作り方

コンテンツ(素材)の準備

まず、表示したいコンテンツを準備します。

オーサリングソフトウェアで利用可能なコンテンツファイルは以下の通りです。

	ファイル形式	拡張子
静止画	(JPEG、PNG、BMP)	*.jpg、*.jpeg、*.png、*.bmp
動画	MPEG1、MPEG2	*.mpeg、*.mpg、*.m2p、*.m2v、*.ts、*.vob
	Windows Media Video 9	*.wmv
オーディオ		*.mp3

注意

ファイルによっては、使用できない場合があります。詳しくは「コンテンツの仕様」をご覧ください。

お知らせ

PowerPointプレゼンテーションソフトウェアを使用して作成したデータ(*.ppt)は、付属のユーティリティーディスク内の変換ソフトウェアViewer PPT Converterを使用して静止画(*.jpg、*.png、*.bmp)に変換し、本機で利用することができます。ただし、アニメーションや動画は変換できません。

オーサリングソフトウェアを使用して番組データを作成する

コンピューター内のオーサリングソフトウェアをクリックして起動します。

オーサリングソフトウェアの詳しい使用方法是オーサリングソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

作成した番組データはオーサリングソフトウェアの「配信」機能を使用して、コンピューターに接続したUSBメモリーに保存してください。

番組データをメディアプレーヤーのメモリーカードにコピーする

1. 番組データを入れたUSBメモリーを用意します。
2. リモコンの「STANDBY」ボタンを押してメディアプレーヤーの電源を切ってから、番組が入っているUSBメモリーをUSB延長ケーブルにセットしてください。

お知らせ

USB延長ケーブルを使用しない場合は、メディアプレーヤー本体のUSBメモリー用コネクタに直接USBメモリーをセットしてください。

注意

アップデートをおこなうと、メディアプレーヤー内の番組データは上書きされます。旧番組データは失われますのでご注意ください。

3. リモコンの「POWER ON」ボタンを押してメディアプレーヤーの電源を入れてください。画面にアップデートの確認画面が表示されるので、「SET」ボタンを押してください。USBメモリー内のファイルが本体内のメモリーカードにコピーされます。

注意

「重要!!! 現在アップロード中。」の文字が表示されている間は、USBメモリーを取り外したり電源を遮断したりしないでください。USBメモリーまたはメモリーカード内のデータが壊れる場合があります。

4. コピー完了後、自動的に再起動します。本体のイニシャライズが終了すると(約1分かかります)再度アップデートの確認画面が表示されます。EXITボタンを押してキャンセルしてください。
5. USBメモリーをUSB延長ケーブルから抜いてください。

注意

番組データの最大容量は1.8G byte (添付のSDカード(2Gbyte)の場合)です。番組データをメディアプレーヤーにコピーする際は、USBメモリー内のコンテンツデータ容量がこの値を超えないように注意してください。メディアプレーヤーにセットされているSDカードの最大容量は、OSD画面の「メモリーカード」で確認できます。

番組データのアップデート時間は、データ容量が1.8Gbyteの場合、最大約15分かかります。

OSD

メニュー	サブメニュー	内容
日付/時刻設定	日付	現在の日付と時間を設定します。
	時間	
	NTPサーバー	本機では未使用です。
	タイムゾーン	本機では未使用です。
ネットワーク	固定IP/DHCP	IPアドレスの設定方法を選択します。
	IP	固定IP選択時に利用するIPアドレスを設定します。出荷設定値は(192.168.0.2)
	Netmask	固定IP選択時に利用するNetmaskを設定します。出荷設定値は(255.255.255.0)
	Gateway	本機では未使用です。出荷設定値(192.168.0.1)のままにしてください。
	DNS	本機では未使用です。出荷設定値(0.0.0.0)のままにしてください。
	MAC	本機のMACアドレスです。
	Proxy	本機では未使用です。出荷設定値(0.0.0.0)のままにしてください。
	LANからのアップデート方法	プッシュモード(出荷設定値)にしてください。 プルモードは本機では未使用です。
	プレビュー	選択した番組をプレビューします。「プログラムリスト」でプレビューをおこなう番組を選択します。リモコンのどれかのボタンを押すとプレビューの終了メニューが表示されます。プレビューは終了するまで繰り返し表示されます。 ※「スライドショーモード」ではOSDメニューに「プレビュー」は表示されません。
タイマー	電源ON/OFF	本体の電源をON/OFFします。オーサリングソフトウェアの電源管理により、電源ON/OFFの時間が設定されている場合は、このタイマー設定は無効になります。 ※オーサリングソフトウェアの電源管理で設定した時間が画面の下半分に表示されます。
	映像ON/OFF	将来の拡張用の設定です。通常は選択せずにご使用ください。
言語		OSDメニューの言語を選択します。
映像出力		ご使用のディスプレイに合わせて、映像出力を選択します。「ディスプレイからのタイミングの読み込み」をチェックすると、ディスプレイの推奨タイミングが表示されます。ディスプレイによっては推奨タイミングが、正常に設定できない場合もあります。その場合はチェックを外してください。
映像入力	ノーマル	通常はこちらを使用してください。
	S-Videoスルーアウト	S-VIDEO入力からの映像を画面いっぱいに表示します。S-VIDEO以外の情報(テロップなど)は表示されません。
メモリカード	空き領域	残りの使用可能領域です。
	利用可能領域	コンテンツが利用できる最大容量です。 目安として、メモリーカード容量の約90%になります。(付属のメモリーカード(2G byte)の場合は、1.8G byte前後で表示されます。)
	コンテンツ全消去	コンテンツを全消去します。
リモコンモード	標準	
	IRロック	リモコン操作をロックします。ロックを解除する場合はリモコンの「MENU」、「1」、「2」、「3」の順にボタンを押し、3秒待ちます。「OSDメニューロック解除」が表示されたら、ロックは解除されています。
スライドショー	標準モード	オーサリングソフトウェアで設定したスケジュールに従って番組が表示されます。
	スライドショーモード	接続されているUSBメモリー内の静止画(*.jpg、*.jpeg、*.png、*.bmp)を名前順に連続表示するモードが設定できます。
	動画再生モード	接続されているUSBメモリー内の動画(*.wmv、*.mpg)を名前順に連続表示するモードが設定できます。

スライドショーモード／動画再生モード

USBメモリー内の静止画像データ (*.jpg, *.jpeg, *.png, *.bmp) または、動画ファイル (WMV9, MPEG1, MPEG2) を名前順に連続表示する機能です。オーサリングソフトウェアを使用することなく、静止画像データまたは、動画データを表示できます。

スライドショーモードの設定方法

1. 表示したい静止画像データが入っているUSBメモリーをメディアプレーヤーにセットします。

お願い

- 静止画像が入っているフォルダーの名称は「media」以外にしてください。

2. OSDメニューの「スライドショー」で「スライドショーモード」を選択します。
3. 3秒から60秒までの時間指定が設定可能です。また、「Manual」に設定するとリモコン方向ボタン▲、▼によって表示を切り替えることができます。

注意

表示時間の設定は再起動後に有効になります。

4. 「フォルダ」でSETボタンを押して、表示したい静止画像が入っているフォルダー名を選択します。

注意

2階層目以降のフォルダーを指定することはできません。フォルダー名選択は再起動後に有効になります。

5. 「設定」を選択し、確認画面で「はい」を選択すると自動的に再起動します。

お知らせ

静止画像表示中、方向ボタン▲、▼を押すと前後の静止画像を表示します。

動画再生モードの設定方法

1. 表示したい動画ファイルが入っているUSBメモリーをメディアプレーヤーにセットします。

お願い

- 動画ファイルが入っているフォルダーの名称は「media」以外にしてください。

2. OSDメニューの「スライドショー」で「動画再生モード」を選択します。

注意

・フルスクリーンを選択すると、常時画面いっぱいに表示されます。

3. 「フォルダ」でSETボタンを押して、表示したい動画が入っているフォルダー名を選択します。

注意

2階層目以降のフォルダーを指定することはできません。フォルダー名選択は再起動後に有効になります。

4. 「設定」を選択し、確認画面で「はい」を選択すると自動的に再起動します。

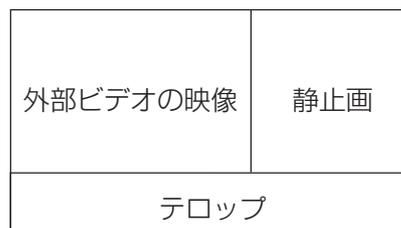
スライドショーモード／動画再生モードの解除方法

1. スライドショーまたは、動画再生表示時にリモコンのMENUボタンを押してOSDメニューを表示します。
2. OSDメニューの「スライドショー」で「標準モード」選択後に「設定」を選択し、確認画面で「はい」を選択すると自動的に標準モードで再起動します。

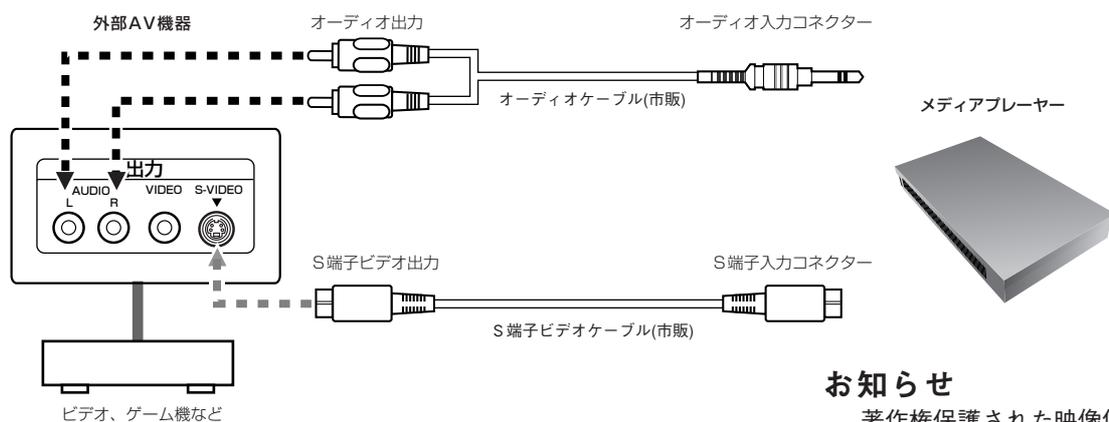
外部ビデオを使用した番組データの作り方

S端子入力コネクタからの外部ビデオの映像を、静止画やテロップと一緒に表示できます。(詳しくはオーサリングソフトウェアの取扱説明書をご覧ください)

番組レイアウト例



市販AV機器との接続は以下のようになります。



お知らせ

著作権保護された映像信号は表示できません。

付属の取り付け金具の使用方法

メディアプレーヤーを弊社のLCDディスプレイに取付ける際に使用します。
 ディスプレイの背面に取り付ける場合と、壁掛け金具(別売)に取り付ける場合とがあります。
 取付可能なLCDディスプレイと取付可能な壁掛け金具を以下の表に示します。

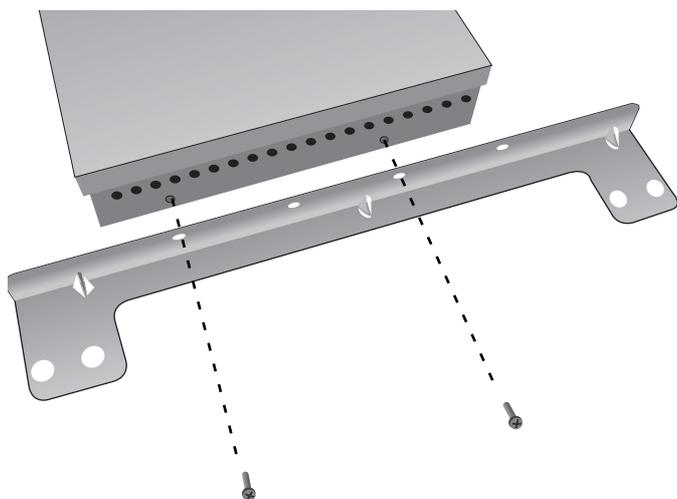
壁掛け金具 形名	仕様		LCD3210	LCD3210-TC(U)	LCD4020	LCD4620	M40	M46	LCD3215	LCD4215	LCD4615	LCD-P401	LCD-P461	LCD-M401	LCD-M461	LCD-V321	LCD-V421	LCD-V461	LCD-S521	LCD-S521-P	LCD-X461HB	LCD-X461UN
	ディスプレイ 設置方向	角度 調整																				
なし	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	●				
ST-TM10H	横	有	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	●				
ST-TM10V	縦	有	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●	●	●				
ST-TM40	横/縦	有			●	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●

●MP-01取付可

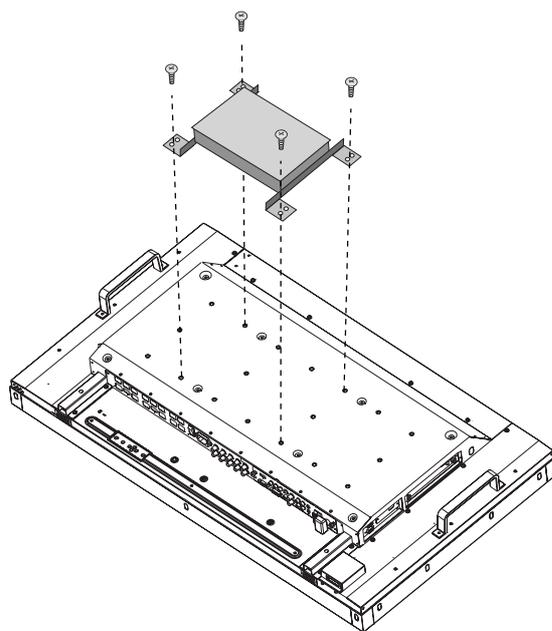
液晶ディスプレイの背面にメディアプレーヤーを取り付ける場合

取り付け可能な液晶ディスプレイは以下の通りです。

LCD3210, LCD4020, LCD4620, M40, M46, LCD3215, LCD4215, LCD4615, LCD-V321, LCD-V421, LCD-V461



1. 本体側面から取り付け金具用ネジを取り外します。(各側面に2つずつあります)。取り外したネジを使用して、本体の両側面に取り付け金具をネジ留めします。



2. 液晶ディスプレイの背面に取り付けます。
M6 ネジ(長さは取付金具の板厚+10mm)を使用し、しっかりと締めてください。(締付トルク 470~635N・cm)

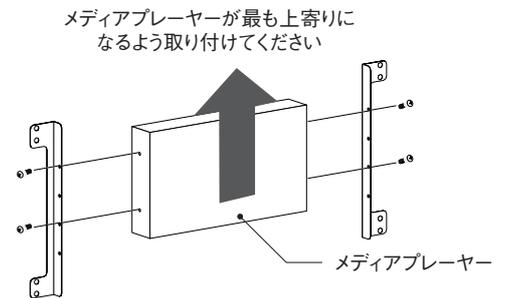
注意

M6ネジは、お客様側でご用意ください。

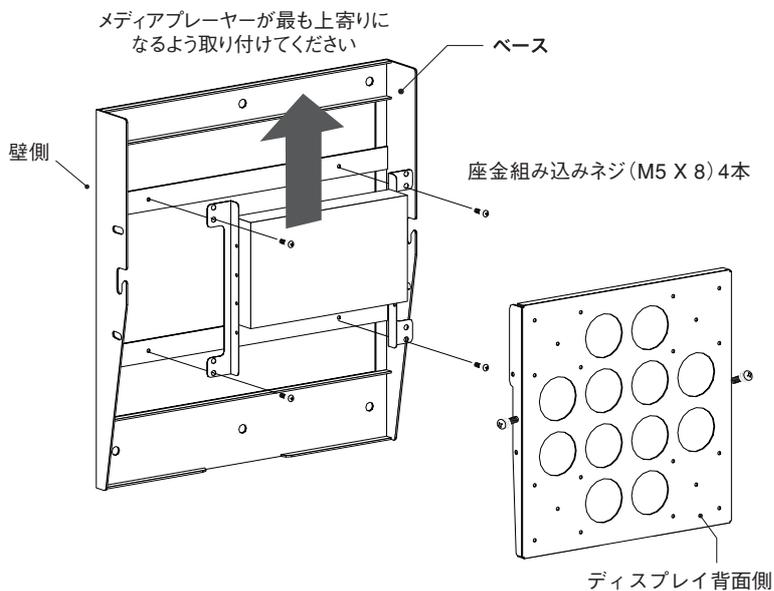
付属の取り付け金具の使用方法(つづき)

壁掛け金具(別売)にメディアプレーヤーを取り付ける場合

1. 本体側面から取り付け金具用ネジを取り外します。
(各側面に2つずつあります)。
取り外したネジを使用して、本体の両側面に取り付け金具をネジ留めします。この時、メディアプレーヤーが最も上寄りになるよう取り付けてください。
2. ベースにネジでメディアプレーヤーをしっかりと固定します。この時、メディアプレーヤーが最も上寄りになるよう取り付けてください。

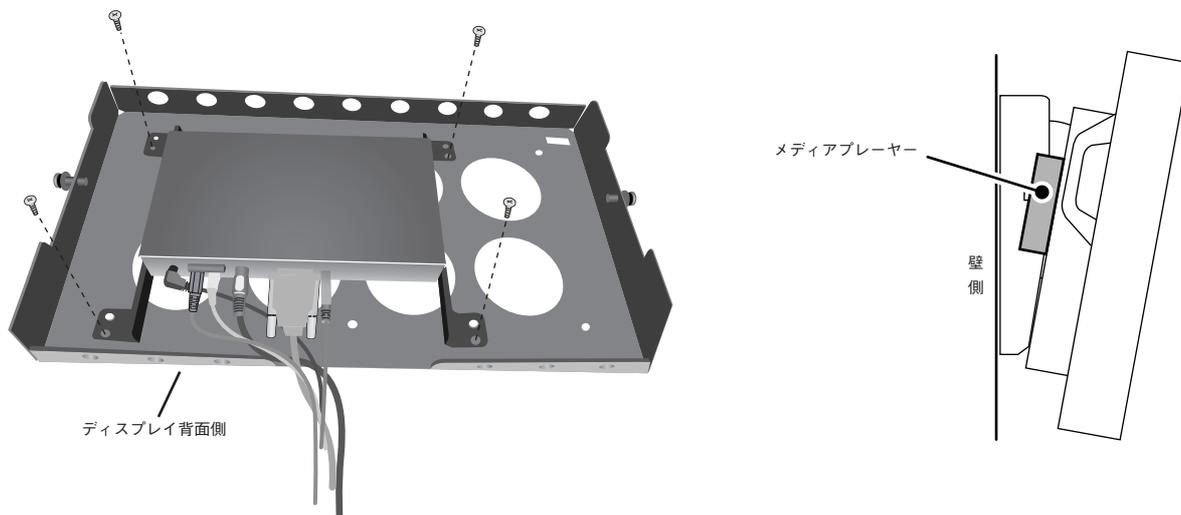


ST-TM40の取り付け例



※メディアプレーヤー取付用の座金組み込みネジ(M5×8)4本は添付されていません。お客様でご用意ください。

ST-TM10Hの取り付け例



LAN 接続 / 設定

はじめに

LAN経由で番組データを配信する場合、LANの接続と設定が必要になります。

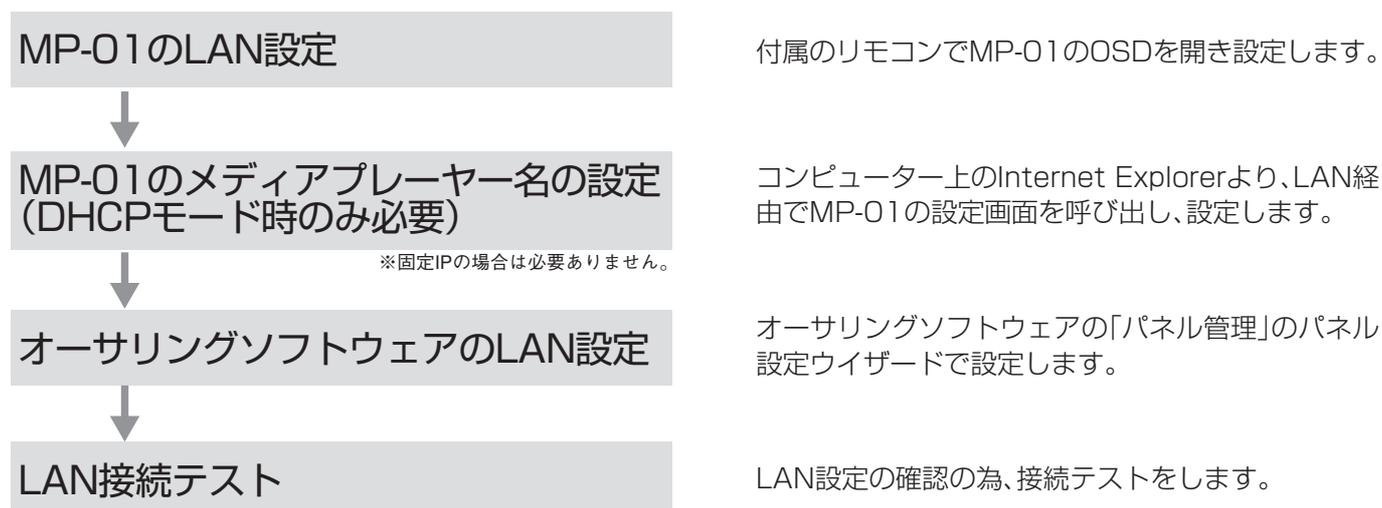
IPアドレスの設定方法は、固定IPアドレスの場合とDHCPサーバー使用の2通りがあります。

固定IPアドレスの場合は、「LAN接続/設定:固定IPアドレス使用の場合」を、DHCPサーバー使用の場合は「LAN接続/設定:DHCPサーバー使用の場合」をご参照ください。

お知らせ

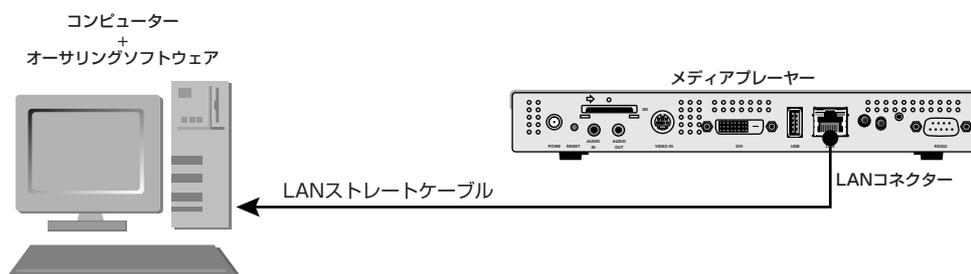
DHCPサーバーはネットワーク上の機器にIPアドレスを提供します。通常、ルーターに内蔵されています。

LAN設定は次の流れになります。

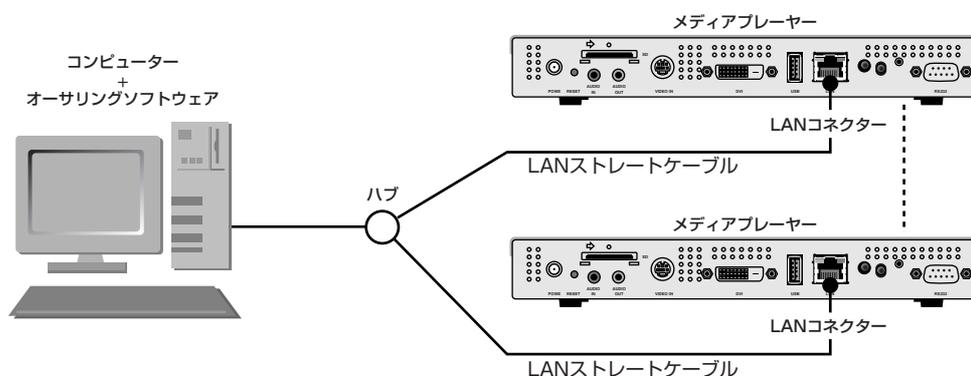


LAN 接続／設定(つづき)

●コンピュータと直接接続する場合



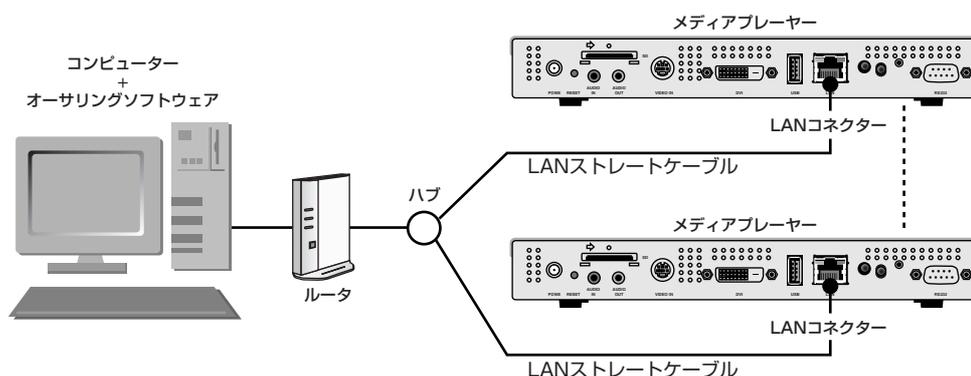
●コンピュータとハブ経由で複数台接続する場合



●DHCPサーバー(ルーターに内蔵)を利用する場合

お知らせ

「LAN接続/設定:DHCPサーバー使用」をご参照ください。



お知らせ

最大20台までのメディアプレーヤーの接続が可能です。

注意

ルーターのWAN側端子ではなくLAN側端子に、コンピュータおよびメディアプレーヤーを接続してください。
ルーター、LANケーブル、ハブは市販のものを別途準備願います。
カテゴリ5以上のLANケーブルをお使いください。

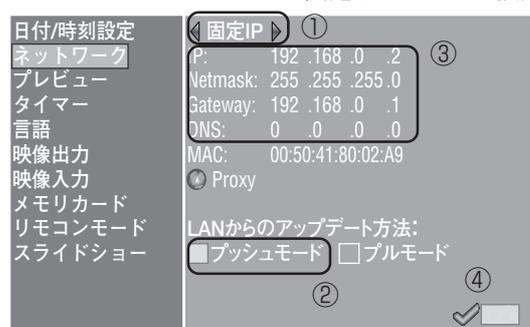
LAN 接続／設定：固定 IP アドレス使用の場合

1. メディアプレーヤーの固定IPアドレス設定

- 1) メディアプレーヤーとディスプレイの電源を入れます。
- 2) リモコンのメニューボタンによりOSD画面を表示し、「ネットワーク」を開きます。
- 3) IPアドレスを設定します。

固定IPアドレスの設定

- ① リモコンの左右方向ボタンで「固定IP」を選択してください。
- ② 「ブッシュモード」を選択してください。
- ③ リモコンの数字ボタンで下表のように設定してください。
設定したIPアドレスはメモ等に控えておいてください。
- ④ 「設定」を選択します。
- ⑤ EXITボタンでOSDメニューを終了します。



IP	コンピューターのIPアドレスを調べ、アドレスの末尾のみ変更し、他のメディアプレーヤーのIPアドレスと重複しない値を設定します。 例) コンピューターのIPアドレス: 192.168.0.10の場合、 1台目のメディアプレーヤーには192.168.0.2 を設定。 2台目のメディアプレーヤーには192.168.0.3 を設定。
Netmask	コンピューターのNetmaskと同じ値を設定します。出荷設定値は(255.255.255.0)
Gateway	出荷設定値のままにしてください。出荷設定値は(192.168.0.1)
DNS	出荷設定値のままにしてください。 出荷設定値は(0.0.0.0)

ご注意

コンピューターのIPアドレスはネットワーク環境に合わせて設定してください。

お知らせ

コンピューターのIPアドレス、Netmaskを確認するには、Windows XP/Vista/7の、「コマンドプロンプト」(スタートメニュー/すべてのプログラム/アクセサリの中にあります。)を起動し

C:¥> ipconfig を実行してください。

LAN 接続／設定：固定 IP アドレス使用の場合(つづき)

2. オーサリングソフトウェアのパネル登録

オーサリングソフトウェアのパネル
設定ウィザードの起動ボタン

オーサリングソフトウェアの「パネル管理」メニューの中の
パネル設定ウィザードのボタンをクリックします。



オーサリングソフトウェアのIP
アドレス設定

- ① 配信先名の設定
変更必要なければ、そのまま「次へ」をクリックします。
- ② 接続形態の設定で、LAN(固定IP)を設定。
- ③ 1.で設定したIPアドレスを入力します。
- ④～⑥ 必要に応じ設定し、「次へ」をクリックします。
- ⑦ 設定内容を確認し「完了」をクリックします。



全てのメディアプレーヤーに対し①～⑦を実行し、パネル管理の画面で設定
内容を再確認してください。以上で設定は完了です。

お知らせ

パネル管理の「パネルプロパティ」で上記の設定は変更することができます。

例 2台のメディアプレーヤーを登録



3. LAN接続テスト

- 1) コンピューター上で、Internet Explorerを起動し、アドレス欄に
「http://」に続きオーサリングソフトウェアで設定した固定IP
アドレスを入力します。



- 2) ユーザ名、パスワード画面が表示されたら、
ユーザ名: default パスワード : 0000 を入力します。
- 3) 設定画面が表示されることを確認します。

ユーザ名、パスワード画面



WEB設定画面

お知らせ

WEB設定画面より、メディアプレーヤーの設定確認ができます。

ご注意

Internet Explorer以外のブラウザでは正常に表示されない場合があります。

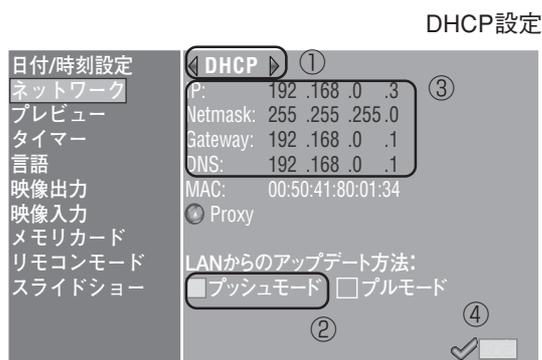


LAN 接続／設定：DHCP サーバー使用の場合

1. メディアプレーヤーをDHCPモードに設定

- 1) メディアプレーヤーとディスプレイ、ハブ、ルーターの電源を入れます。
- 2) リモコンのメニューボタンによりOSD画面を表示し、「ネットワーク」を開きます。
- 3) OSD画面で以下のように設定します。

- ①リモコンの左右方向ボタンで「DHCP」を選択。
- ②「プッシュモード」を選択。
- ③「設定」を選択。



2. メディアプレーヤー名の確認と設定

メディアプレーヤー名はオーサリングソフトウェアのパネル設定で必要になります。

- 1) コンピューターとメディアプレーヤー、DHCPサーバー(またはルーター)をネットワーク上で接続し、電源を入れます。
- 2) メディアプレーヤーのOSD画面の「ネットワーク」を開き、DHCPサーバーによりIPアドレスが正しく設定されていることを確認しメモに控えます。(0.0.0.0以外であれば設定されています。)
- 3) コンピューターのIPアドレスが設定されていることを確認します。

お知らせ

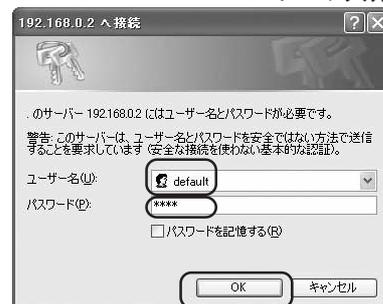
IPアドレスは、OSDでDHCPを設定時、または起動時に設定されます。

- 4) コンピューター上でInternet Explorerを起動し、アドレス入力に「http://」に続き2)で確認したメディアプレーヤーのIPアドレスを入力後、移動ボタンをクリックします。



例. http://192.168.0.2

設定画面のユーザ名とパスワード入力



- 5) ユーザー名とパスワードの入力画面が開きますので、半角で
ユーザー名:default
パスワード:0000
と入力しOKをクリックします。

ご注意

- DHCPサーバー、またはDHCPサーバー機能を有するルーターをご準備ください。
- ルーターの場合、DHCPサーバー機能を有効にしてください。
- コンピューターのIPアドレスはネットワーク環境に合わせて設定してください。

お知らせ

コンピューターのIPアドレス、Netmaskを確認するには、Windows XP/Vista/7の、「コマンドプロンプト」(スタートメニュー/すべてのプログラム/アクセサリの中にあります。)を起動し

C:> ipconfig を実行してください。

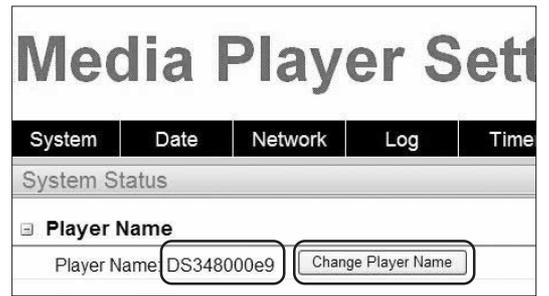
LAN 接続／設定：DHCP サーバー使用の場合(つづき 1)

6) 設定画面の表示後メディアプレイヤー名(Player Name)を確認します。

変更する場合は、ChangePlayerNameのボタンをクリックして、アルファベットで始まる半角15文字以内の名前を入れ、「Submit」ボタンをクリックします。(記号、スペースは使用できません)

メディアプレイヤー名はメモ等に控えておいてください。

設定画面のメディアプレイヤー名



7) Internet Explorerを閉じます。

メディアプレイヤー名の変更



ご注意

他のプレイヤーのメディアプレイヤー名と重複しないように設定してください。アルファベットの太文字/小文字は区別されません。

お知らせ

メディアプレイヤー名の出荷設定値は、DS34XXXXXX

XXXXXXはメディアプレイヤーのMACアドレスの下6桁になります。MACアドレスはOSDの「ネットワーク」のMACで確認できます。

例. MAC:0050418000e9の場合、メディアプレイヤー名はDS348000e9です。変更せずにそのまま使用することもできます。

3. オーサリングソフトウェアのパネル登録

オーサリングソフトウェアの「パネル管理」メニューの中のパネル設定ウィザードのボタンをクリックし、ウィザードを起動します。

オーサリングソフトウェアのパネル設定ウィザードの起動ボタン



① 配信先名の設定

変更の必要がなければ、そのまま「次へ」をクリックします。

② 接続形態の設定で、LAN(DHCP)を設定。

③ 設定したメディアプレイヤー名を入力します。

④～⑥ 必要に応じ設定し、「次へ」をクリックします。

⑦ 設定内容を確認し「完了」をクリックします。

メディアプレイヤー名の設定



全てのメディアプレイヤーに対し①～⑦を実行してください。

パネル管理の画面で設定内容を再確認してください。

以上で設定は完了です。

例 2台のメディアプレイヤーを登録



お知らせ

パネル管理の「パネルプロパティ」で上記の設定は変更することができます。

LAN 接続／設定：DHCP サーバー使用の場合(つづき 2)

4. LAN接続テスト

- 1) コンピューター上で、Internet Explorerを起動し、アドレス欄に「http://」に続きオーサリングソフトウェアで設定したメディアプレイヤー名を入力します。

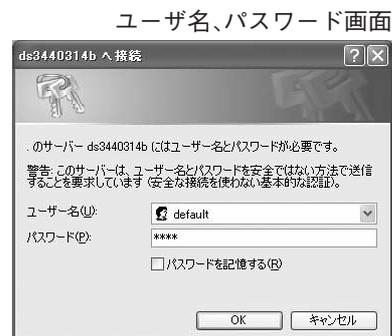


例. http://DS3440314b

お知らせ

メディアプレイヤー名のアルファベットの大文字/小文字は区別されません。

- 2) ユーザー名、パスワード画面が表示されたら、
ユーザー名: default パスワード : 0000 を入力します。



- 3) 設定画面が表示されることを確認します。

お知らせ

WEB設定画面より、メディアプレイヤーの設定確認ができます。

ご注意

Internet Explorer以外のブラウザでは正常に表示されない場合があります。

WEB設定画面



番組データをメディアプレーヤーへ配信する

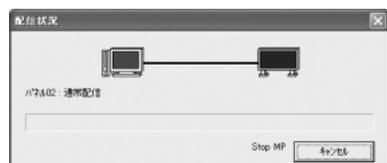
1. オーサリングソフトウェアを使用して番組を作成します。
付属CD-ROM内の「MP-01 簡易操作説明書」をご参照ください。
2. メディアプレーヤー、コンピューター、ハブ、ルーター等、ネットワーク上の機器の電源をONします。
3. オーサリングソフトウェアで「配信」ボタンをクリックします。
4. 配信先(メディアプレーヤーを意味します。)を選択します。
5. 必要に応じ、番組も選択します。
(配信先選択時、スケジュールに登録されている番組が選択されます。)
6. 配信実行ボタンをクリックします。
7. 選択した配信先に順番に番組データが配信されます。全ての配信先に配信後、終了します。

配信先と番組の選択



お知らせ

配信ログでエラー情報、配信番組が確認できます。



8. メディアプレーヤー側は配信開始時、番組表示を中断し、番組データを受信します。
受信中は以下のメッセージを表示します。

コンテンツアップデート中。絶対に電源を切らないでください。

注意

・番組表示がない場合に受信した時、メッセージは表示されず、黒画面のままになります。

9. メディアプレーヤーは番組データ受信後、番組データの生成します。
10. メディアプレーヤーは再起動(約1分かかります)し、以後、スケジュールに沿って、番組を表示します。

注意

- ・配信を実行すると、SDメモリカード内の旧番組は消去されます。
- ・100Mバイトの番組を1台のメディアプレーヤーに配信する場合、
 - ①オーサリングソフトウェアの配信に約1分、②配信後のメディアプレーヤー側の番組データ生成処理に1分かかります。
 *時間はPCの性能や、番組内容により変わります。
*②の後、メディアプレーヤーの再起動に約1分かかります。
- ・配信中および番組データ生成中は、電源を遮断しないでください。
- ・配信は、メディアプレーヤーの電源がONしている必要があります。
- ・メディアプレーヤーが番組データ生成中(9., 10.)に、オーサリングソフトウェアから配信すると配信エラーになります。
メディアプレーヤーの再起動後に配信してください。

番組データの差分配信について

配信時間を短縮するために、LAN経由で再配信する番組は、番組内で新たに追加される動画、静止画、音声ファイルだけが配信されます。

番組種別	配信ファイル
新規配信する番組	番組に登録した全てのファイルを配信
再配信する番組 注1)	追加した動画、静止画、音声ファイルのみ配信。注2)

注1) 再配信とは、メディアプレーヤーに前回、同名の番組が配信されている状態です。

注2) テロップデータ、スケジュールファイルは必ず配信されます。

注3) 配信後、メディアプレーヤーは新たに配信されたファイルと既存ファイルにより新番組を生成します。不要な旧ファイル、旧番組は削除されます。

番組データ容量の上限

1台のメディアプレーヤーの番組データ容量の上限は以下の表を参照してください。

配信時、SDカードメモリー容量不足のエラー(エラーコード441)が出る場合は、番組データを減らす、または、SDメモリーカードの容量を増やしてください。

配信方法	番組データ容量の上限	例)
USBメモリー	SDメモリーカード容量の90%以内 注1)、注2)	2GバイトのSDカードの場合、1.8Gバイトまで。
LAN	SDメモリーカード容量の45%以内を目安にしてください。注3)、注2)	2GバイトのSDカードの場合、目安として0.9Gバイトまで。

注1) 番組データ容量は各番組データの容量の総和になります。

1つの番組データの容量は登録した動画、静止画、音声データの容量の総和になります。

例) 1台のメディアプレーヤーに配信する番組が

番組1: 静止画1、動画1を登録

番組2: 静止画2、動画1を登録

の場合、番組データ容量は、静止画1+動画1+静止画2+動画1の容量の総和になります。

注2) 配信後、OSDの「メモリーカード」により、SDカード占有領域を確認することができます。

注3) 番組の構造により、上限の容量は上がります。

実際の上限は、番組データ容量(注1参照)と配信データ量の合計が、SDメモリーカード容量の90%以内に収まるまでです。

配信データ量は、番組データで登録した静止画、動画、音声ファイルの総和になりますが、同じファイルは一つになります。(番組データ容量は、同じファイルも登録した分占有します。)

例) 番組1: 静止画1、動画1

番組2: 静止画2、動画1

の場合、配信データ容量は、静止画1+静止画2+動画1の容量の総和になります。

配信時のメディアプレーヤー電源管理

配信時はメディアプレーヤーを電源ON(電源ランプが緑の状態)にする必要があります。

電源オフ(電源ランプが赤)では配信できません。

また、メディアプレーヤーの電源タイマーを設定する場合は、配信する時間帯に電源ONになるように設定をしてください。

電源タイマーは、オーサリングソフトウェアのパネル管理の電源管理で設定ができます。

困ったときには (起動、映像・音声出力、リモコン、OSD)

症状	状態	原因と対策	参照ページ
電源が入らない	本体電源ランプが点灯しない (ON:緑、OFF:赤)	ACアダプターと電源コードの接続、およびDC電源入力コネクターの接続を確認してください。 電源コンセントに正常に電源が供給されているか、別の機器で確認してください。	P7
	リモコン受光部延長ケーブルの電源ランプが点灯しない (ON:緑、OFF:消灯)	リモコンの電源ボタンを押し、電源ランプの点灯を確認してください。 リモコン受光部延長ケーブルの接続を確認してください。 (奥までしっかりと差し込んでください。)	P5 P6
映像/音がでない	画面に映像が表示されない	信号ケーブル(DVI-D-DVI-Dケーブル)が本機またはディスプレイのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。 ディスプレイ側でDVI入力が選択されているかを確認してください。 リモコンのMENUボタンを押し、数秒後にOSD画面が表示されるかを確認してください。表示される場合は、映像出力の自動OFF機能が働いている可能性があります。(番組未設定の時間帯は映像出力をOFFにします。ご購入時は番組未設定のため、常時映像出力はOFFになります。番組が設定された時間帯になれば映像が表示されます。)	P7 P8
	音が出ない	本機およびスピーカー機器との間のオーディオケーブルの接続を確認してください。 スピーカー機器の音声入力、音量が正しく選択されているか確認してください。	P7
	上記を試したが、何も表示されない	以下の操作により、システムイニシャライズを試してください。これをおこなうと設定値が出荷状態に戻ります。 1) リモコンで、電源を切ります。 2) リモコンの電源ボタンを押し、電源ランプが緑に点灯後、速やかに、7、8、5の順番で数字ボタンを押します。 3) メディアプレーヤーはシステムイニシャライズされて、起動します。画面にはSystem starting が表示された後に、「出荷状態へリセットしました。」が表示されます。 4) 「言語」、「日付/時刻設定」、「映像出力」を再設定します。	—
リモコンが動作しない		リモコン受光部延長ケーブルを装着していると本体の受光部は動作しません。リモコン受光部延長ケーブルの受光部へリモコンを向けて操作してください。	P6
		リモコンに電池が入っていない。あるいは、電池が消耗している。電池のいれ方に間違いがないか確認してください。	P5
		IRロックが動作している可能性があります。IRロックを解除してください。	P11
映像が正常に表示されない	画面がちらつく 未サポート信号である旨のディスプレイ側のメッセージが表示される	ディスプレイが、メディアプレーヤーの解像度に対応しているか確認してください。対応していない場合は、本機の表示設定をディスプレイ対応の設定に変更してください。	P29
	メディアプレーヤーの表示が画面に対し、小さすぎる、あるいは、はみ出す 色がおかしい	本機とディスプレイの信号ケーブル接続を確認してください。	
起動時、注意画面が表示される	「It failed to access the memory card.」が表示された	メモリーカードが外れている可能性があります。確実に装着されているか確認してください。	P7
	「It failed to recover library(.img) file. There is no library file in the memory card.」が表示された	メモリーカードを取り出し、コンピューターで.imgという拡張子を持つファイルが存在することを確認してください。存在しない場合は、付属のユーティリティディスクまたは弊社ホームページから入手してコピーしてください。	P28
	「現在、表示予定のプログラムはありません」が表示された	日時の設定が正しいかを確認してください。 オーサリングツールのスケジュール設定に誤りがないかを確認してください。誤りがあれば、スケジュールを修正し、コンテンツアップデートしてください。	P8 —
	「USBメモリを検出しました。[SET]でUSBメモリより、コンテンツをアップデートします」が表示された	USBメモリーが装着されている場合に表示されます。コンテンツアップデートをおこなわない場合は、EXITボタンを押してUSBメモリーを外します。	—
	「スライドショーをおこなうには、USBメモリーを装着してください」または、「動画再生モードをおこなうには、USBメモリーを装着してください」が表示された	スライドショーモードまたは動画再生モードになっています。静止画または動画の入ったUSBメモリーを接続してください。このモードで使用しない場合は、EXITボタンを押して終了し、OSD画面の「スライドショー」でスライドショーモードまたは動画再生モードを「標準モード」に設定してください。	P11, 12
	「USBメモリーの中にスライドショー用のファイルがありません。他のUSBメモリーを装着してください」または「USBメモリーの中に動画再生モード用のファイルがありません。他のUSBメモリーを装着してください」が表示された		
コンテンツアップデートができない	USBメモリーを装着した状態で電源を入れても、「USBメモリを検出しました。[SET]でUSBメモリよりコンテンツアップデートします」のメッセージが表示されない	コンピューターでUSBメモリー内にmediaという名称のフォルダーがあることを確認してください。mediaという名称のフォルダーがない場合は、オーサリングソフトウェアで番組データをUSBメモリーへ保存してください。 USB延長ケーブルの接続を確認してください。 USBメモリーのフォーマットがNTFSフォーマットでないことを確認してください。 暗号化されていないUSBメモリーであることを確認してください。 別のUSBメモリーを試してください。(推奨品を当社ホームページで確認ください。)	— P7 — —
	「コンテンツファイルが見つかりません。コンテンツアップデートを中断しました」が表示された	オーサリングソフトウェアで、番組データをUSBメモリーへ保存してください。	—
	「コンテンツのデータ容量が大きすぎます。容量を減らし、アップデートしてください」が表示された	オーサリングソフトウェアで、容量が減るように、番組を削減してください。コンテンツの最大容量は、1.8Gbyte(付属のメモリーカード(2Gbyte)の場合)です。	—
	起動時にスライドショーが始まる	スライドショーモードが設定されています。スライドショー表示中にMENUボタンを押してOSDメニューを表示し、スライドショーを「標準モード」に設定してから再起動してください。	P11, 12
	OSDメニュー内のタイマーの設定値が、設定できない	コンテンツアップデートにより電源制御が設定されると、タイマー機能は無効になります。	P11
自動的に電源が切れてしまう	タイマーまたはオーサリングソフトウェアで電源制御が設定されていないか確認してください。設定されている場合は、必要に応じて解除してください。オーサリングソフトウェアの電源制御の解除についてはオーサリングソフトウェアの取扱説明書の「電源管理」を参照してください。	—	
映像出力の設定で、タイミング表示が表示はされているが、選択できない	OSD画面の「映像出力」で「ディスプレイからのタイミング読み込み」のチェックを外してください。	P11	
スライドショーまたは動画再生モードが動作しない	電源起動時、「USBメモリーの中にスライドショー用(または動画再生用)のファイルがありません。他のUSBメモリーを装着してください。」のメッセージが表示された	USBメモリーに静止画または動画が入っているか、または、OSDメニューのスライドショーより、フォルダ設定の確認をしてください。 静止画ファイルまたは動画ファイルが、本機で扱えるファイルかを確認してください。	— P30
	USBメモリーを装着しているが、電源起動時、「スライドショー(または、動画再生モード)をおこなうには、USBメモリーを装着してください」が表示された。	USB延長ケーブルの接続を確認してください。 別のUSBメモリーを試してください。 (推奨品を当社ホームページで確認ください。)	P4, 7 —
	起動時にコンテンツアップデートの確認画面が表示される。または既存の番組が表示される。	OSD画面の「スライドショー」で、「スライドショーモード」が選択されているか確認してください。	P11, 12

困ったときには (番組、コンテンツ表示)

症状	状態	原因と対策	参照ページ
動画が正常に表示されない	「非対応の映像コーデックを使用した動画です。対応した映像コーデックの動画をご使用ください。」が表示される、何も表示されない、または、  が表示される。	表示しようとしている動画ファイルのコーデックが、本機で扱えるコーデックかを確認してください。	P30
	「非対応の映像コーデックを使用した動画です。対応した映像コーデックの動画をご使用ください。」が表示される、何も表示されない、または、  または  が表示される。	ファイルが開けない、または再生できません。未サポートのファイルフォーマットの可能性があります。「コンテンツの仕様」を確認してください。またはファイルが壊れている可能性があります。コンピューター上で再生できるかを確認してください。	
	「非対応の映像コーデックを使用した動画です。対応した映像コーデックの動画をご使用ください。」が表示される、何も表示されない、または、  が表示される。	動画のビットレートが、最大値を超えていると、表示されません。動画編集用ソフトウェアを用いて、ビットレートを小さくしてください。参考) (動画ファイルサイズ(Byte)/再生時間(秒)) × 8bit > 最大ビットレートの動画の場合、表示しません。	
	動画は表示されるが、動画の音がでない メディアプレーヤーで番組を表示する際、縦型レイアウトで、動画が90度回転しない	動画ファイル内のAudio(音声)が、本機で扱えるファイルかを確認してください。縦型レイアウトで動画は自動的に回転しません。オーサリングソフトウェアのご使用前に、動画編集用ソフトウェアを使用して回転させてください。著作権保護機能を含む動画は、再生できません。	
静止画が正常に表示されない	「この画像形式には対応していません。画像のファイル形式を確認してください。」が表示される、表示されない画像がある、または、  が表示される。	表示しようとしている画像ファイルのフォーマットが本機で扱えるものかどうかを確認してください。 表示しようとしている画像ファイルのコーデックが、本機で扱えるコーデックかを確認してください。 ファイルが壊れている可能性があります。コンピューター上で表示できるかを確認してください。	P30 P30 —
	まったく表示されない	オーサリングソフトウェアのテロップ設定を確認してください。	—
テロップが正常に表示されない	特定の文字が表示されない	半角の"<"または">"が、あると、表示されません。全角にしてください。	—
	縦型レイアウト選択時、特定文字が回転しない	ごく一部の特殊な文字は表示できない場合があります。回転すると不自然な記号=、(、)、[、]等は、回転しないようにしています。	—
	テロップ表示が開始するまでに時間がかかる	テロップの文字数が増えるにつれ、表示開始までに時間がかかります。100文字で、おおよそ7秒かかります。	—
	テロップの表示速度が遅い	テロップの高さは画面全体の高さの30%以下にしてください。	—
外部ビデオの動画が表示されない	「コピープロテクトの入った信号の為、表示できません。」が表示される、または、  が表示される。	市販DVDコンテンツ等の著作権保護機能を含む映像信号は、表示できません。	— — —
	番組と番組の間で、何も表示されない	動画の切り替え時には10数秒間映像と音声が出ない時間帯がありますが、故障ではありません。	—
	スケジュール設定の通りに表示されない	オーサリングツールのスケジュール設定に誤りがないかを確認してください。誤りがあれば、スケジュールを修正し、コンテンツアップデートしてください。 日時の設定が正しいかを確認してください。	— P8

困ったときには (LAN使用時)

症状	条件	オーサリングソフトウェアエラーコード	原因と対策	参照ページ	
・配信できない ・接続テストで接続できない。	固定IP設定の場合	エラーコード:-1	オーサリングソフトで設定したIPアドレスが正しいか確認してください。	P18, 19	
		エラーコード:102	メディアプレーヤーのネットワーク設定が正しいか確認してください。 メディアプレーヤーのIPアドレスが重複していないか確認してください。 コンピュータのネットワーク設定を確認してください。		
	DHCP設定の場合	エラーコード:-1	ルータのDHCPサーバが有効になっていることを確認してください。	P20, 21, 22	
		エラーコード:100	メディアプレーヤーのメディアプレーヤー名が正しいか確認してください。		
		エラーコード:102	オーサリングソフトウェアのメディアプレーヤー名が正しいか確認してください。 メディアプレーヤー名が重複していないか確認してください。 ※アルファベットの大文字/小文字は区別されません。		
	固定IP/DHCP設定共通	エラーコード:-1	エラーコード:-1	LANケーブルの接続を確認してください。	P17
			エラーコード:100	ルーター、ハブ、メディアプレーヤーの電源がON(電源ランプ緑)を確認してください。	—
		エラーコード:101	メディアプレーヤーの電源が入っていない可能性があります。手でメディアプレーヤーの電源をONにするか、または、配信時に電源がONになるよう電源タイマーの設定を変更してください。	P24	
		エラーコード:102	ファイアウォールやセキュリティソフトにより、ポート番号を閉じていないかを確認してください。本機は、ポート番号 20,21,80を使用します。	—	
	オフラインの場合 (USBメモリー使用)	エラーコード:501	エラーコード:501	メディアプレーヤーは起動中です。少し時間をおいてから再配信してください。	—
エラーコード:507			メディアプレーヤーはアップデート処理中です。少し時間をおいてから再配信してください。	—	
WEB設定画面が開けない。	ユーザ名、パスワード入力でエラー	エラーコード:434	SDメモリーカードの容量が不足しています。番組データを減らす、または、容量の大きいSDメモリーカードへ変更してください。	P24	
		エラーコード:441	USBメモリーを検出できなかった可能性があります。再装着してください。 暗号化したUSBメモリーの可能性があります。本機では扱えません。 1ファイルの容量が、上限の4G byteを超えていないか確認してください。	—	
	メディアプレーヤー名が設定できない。	ユーザ名: default, パスワード: 0000を入れてください。 アルファベットで始まる15文字以内の半角アルファベット、数字で設定してください。スペース、記号は使用できません。入力後はSubmitボタンをクリックしてください。	P20, 22 P20, 21		
選択ボタンが表示されない。	インターネット Explorer以外のブラウザ使用時に発生する場合があります。	—			

お知らせ

接続テストで問題ある場合、次ページを参照ください。

困ったときには (Ping コマンドによる LAN 接続テスト)

LAN経由で配信ができない場合、コンピュータのPingコマンドにより、LAN接続テストを試してください。

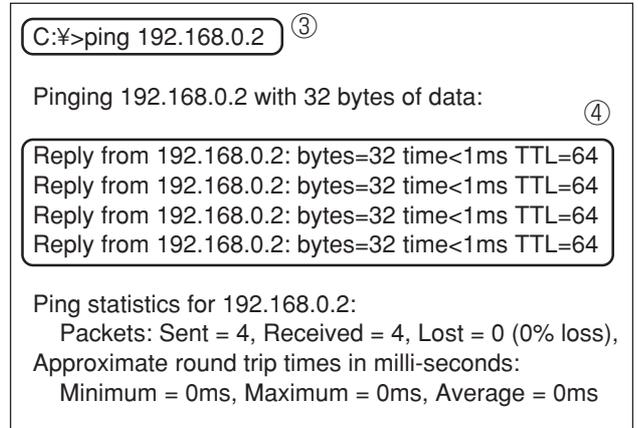
固定IPアドレスの場合

① OSDの「ネットワーク」からIPアドレスを調べます。



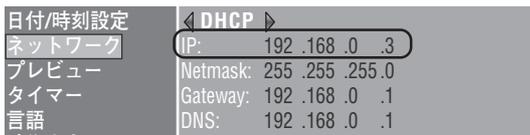
- ② コンピューター上でWindowsのコマンドプロンプトを起動します。
- ③ C:¥>ping <IPアドレス> を実行します。
- ④ Replyの表示が出れば接続できています。

コマンドプロンプト画面



DHCPサーバ使用時の場合

① OSDの「ネットワーク」からIPアドレスを調べます。

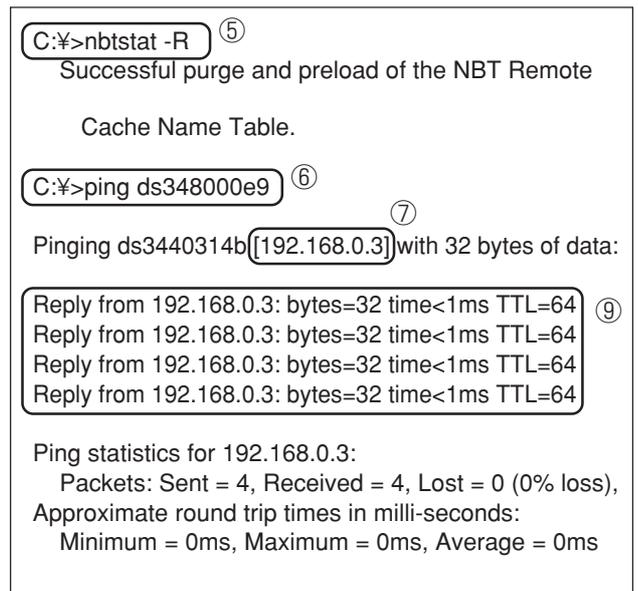


- ② コンピューター上でInternet ExplorerのURL欄に http://<IPアドレス> を入力
- ③ WEB設定画面が開いたらメディアプレーヤー名を確認します。



- ④ Windowsのコマンドプロンプトを起動します。
- ⑤ C:¥>nbtstat -R を実行します。
- ⑥ C:¥>ping <メディアプレーヤー名> を実行します。
- ⑦ IPアドレスが表示されることを確認します。
- ⑧ ①のIPアドレスと一致することを確認します。
- ⑨ Replyが返っていれば接続できています。

コマンドプロンプト画面



お知らせ

接続できない場合は、LANケーブルの接続、メディアプレーヤーおよびコンピュータの設定、メディアプレーヤーの電源ON(電源ランプ緑)を再確認してください。
このテストで接続はできるが、配信できない場合は、ファイアウォールやセキュリティソフトがFTP通信をブロックしている設定になっていないかを確認してください。

動画の最大再生時間

付属のメモリーカード(2Gbyte)の場合、目安として以下のようになります。

※再生時間は、SDメモリーカードの容量、VIDEOとAUDIOのビットレートにより、変わります。静止画、テロップは含みません。

SDメモリーカード容量	ビットレート		再生時間(分)	備考
	VIDEO	AUDIO		
2Gbyte	25Mbps	128kbps	10	1920 x 1080 MPEG2
2Gbyte	10Mbps	128kbps	25	1920 x 1080 WMV9
2Gbyte	6Mbps	128kbps	40	720 x 480 MPEG2

以下の計算式で、おおよその時間が求められます。

再生時間(秒) = (SDメモリーカードの容量(Gbyte) × 0.9) × 1024(Mb) × 1024(kb) × 8bit ÷ ((VIDEOのビットレート(Mbps) × 1024(kb)) + AUDIOのビットレート(kbps))

例) SDメモリーカード:2Gbyte、VIDEOのビットレート:10Mbps、AUDIOのビットレート:128kbpsの場合
(2G × 0.9 × 1024 × 1024 × 8) ÷ (10 × 1024 + 128) = 25分

メモリーカードについて

付属のメモリーカードにはあらかじめファームウェア(拡張子が.imgのファイル)が書き込まれています。誤って消去した場合は、弊社ホームページより最新のファームウェアをダウンロードし、コピーしてください。

市販のSDメモリーカードを本機のメモリーカードとして使用する場合は、弊社ホームページで推奨しているSDメモリーカードをご購入いただき、最新のファームウェアをメモリーカードへ書き込んでください。

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。

法人ユーザー様の窓口

NEC モニター・インフォメーションセンター

フリーコール：0120-975-380

受付時間：月～金 9:00～18:00

土・日・祝祭日、は休ませていただきます。また、これ以外の
当社休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所(付近の目標など)
- 電話番号
- 品名:メディアプレーヤー
- 型名:MP-01
- 製造番号(本機背面のラベルに記載)
- 故障の症状、状況など(できるだけ詳しく)
- 購入年月日または使用年数

仕様

メディアプレーヤー仕様

項目		仕様	
外部 インター フェイス	ビデオ出力	解像度	1920 x 1080 @ 60Hz 1360 x 768 @ 60Hz(出荷設定) 1280 x 1024 @ 60Hz 1024 x 768 @ 60Hz 1680 x 1050 @ 60Hz
		インターフェース	DVI-D
		オーディオ出力	Line out L/R x 1、3.5φステレオミニジャック
		USBメモリー用インターフェース	USBメモリー用コネクタ
		メモリーカード用インターフェース	メモリーカード(SDカード)用コネクタ
	ビデオ入力	Mini DIN 7P コネクター S Video : NTSC / PAL ※市販の映画DVDなどのコピープロテクト付き映像信号は、著作権保護に基づき表示されません。	
	オーディオ入力	Line in L/R x 1、3.5φステレオミニジャック	
	リモコン受光部	赤外線方式	
	リモコン受光部延長ケーブル用入力	2.5φミニジャック	
	制御出力 (メンテナンス用端子)	D-SUB 9pin	
	LAN 端子	RJ-45 10/100BASE-T	
	時計機能	内蔵電池(一次電池)でバックアップ	
	メモリーカード(本体添付)	容量2Gbyte(フォーマット形式:FAT16) メディアプレーヤー用システムファイル書き込み済み	
外形寸法	247.6(W) x 143.6(D) x 33.7(H)		
電源	ACアダプター	出力 +12V AC100-240V、50/60Hz	
消費電力	標準	15W	
	スタンバイ時	1W以下	
適合規格	安全:電気用品安全法(ACアダプタ、電源コード)、不要輻射:VCCI-B		
梱包状態(質量/寸法)	約2.3kg/335.0 mm x 131.0 mm x 252.0 mm		
質量	0.9kg		
使用環境条件	温度	0~40℃	
	湿度	10~80%(結露のないこと)	
保管環境条件	温度	-10~60℃	
	湿度	10~90%(結露のないこと)	

オーサリングソフトウェア仕様

レイアウト機能	動画ファイル(または、ビデオ入力映像)、静止画ファイル、テロップを画面上にレイアウト	
テロップ作成	日本語、英語	
スケジュール作成	・作成した番組を毎日または個別にスケジュール設定 ・週毎にメディアプレーヤーの電源ON/OFF制御の設定	
番組の配信	LAN経由の配信数:最大20台 USBメモリへ出力	
推奨コンピューター条件	CPU	INTEL Pentium 3 1.0GHz以上推奨
	メモリ	256Mbyte以上
	解像度	1024 x 768、65,536色以上
	対応OS	Microsoft Windows Vista Ultimate 32bit版
		Microsoft Windows Vista Business 32bit版
		Microsoft Windows XP Professional 32bit版
Microsoft Windows XP Home Edition 32bit版		
Microsoft Windows 7 Professional 32bit版		
Microsoft Windows 7 Home Premium 32bit版		
その他	Windows XP の場合、Microsoft .NET Framework Version 2.0 または3.5	

Viewer PPT Converterソフトウェア仕様

ソースファイル	Microsoft PowerPointファイル (*.PPT)	
変換出力ファイル	変換フォーマット:JPEG/PNG/BMP 解像度:最大1920 x 1080ドットまで	
推奨コンピューター条件	CPU	INTEL Pentium 3 1.0GHz以上推奨
	メモリ	256Mbyte以上
	解像度	1024 x 768、65,536色以上
	対応OS	Microsoft Windows Vista Ultimate 32bit版
		Microsoft Windows Vista Business 32bit版
		Microsoft Windows XP Professional 32bit版
Microsoft Windows XP Home Edition 32bit版		
Microsoft Windows 7 Professional 32bit版		
Microsoft Windows 7 Home Premium 32bit版		
Microsoft Windows 7 Ultimate 32bit版		
PowerPoint	以下のいずれかがインストールされている必要があります。 PowerPoint 2000 PowerPoint 2002 PowerPoint 2003 PowerPoint 2007	

制限事項

- PowerPointへのアドイン機能
本機では、アドイン機能に対応しておりませんので、登録はしないでください。
- オプション設定の「スライドの切り替え方法」
そのままの設定で、ご使用ください。「切り替え時間」を選択しても無効になります。
- 静止画フォーマット
出力するファイル選択の際、本機で対応している静止画フォーマットのみを指定してください。対応しているフォーマットは、jpeg、BMPフルカラー、PNGフルカラーです。

仕様(つづき)

コンテンツの仕様

(1)動画ファイル

種別	Video /Audio	詳細仕様	拡張子	最大容量/動画ファイル
WMV9 注6)	Video	<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック Windows Media Video 9 (WMV3) ・ビットレート 標準解像度(720 x 480まで): 最大20Mbps 高解像度(1920 x 1080または1280 x 720): 最大35Mbps ・最大解像度 1920 x 1080 25p(プログレッシブ) 1280 x 720 30p(プログレッシブ) 	注1) 注4)	FAT16:2Gbyte FAT32:4Gbyte 注7)
		<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック Windows Media Video 9 Advanced Profile (WMVA) ・ビットレート 標準解像度(720 x 480まで): 最大20Mbps 高解像度(1920 x 1080または1280 x 720): 最大35Mbps ・最大解像度 1920 x 1080 25p(プログレッシブ)、50i(インターレース) 1280 x 720 30p(プログレッシブ)、60p(プログレッシブ) 		
	Audio	<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック Windows Media Audio 9 (最大2ch) Windows Media Audio 9 Professional(最大2ch) 	注5)	
MPEG1 注6)	Video	コーデック: MPEG-1 Video	注4)	.mpg .mpeg
	Audio	<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック:MPEG-1 Audio layer2 ・ビットレート: 最大384kbps ・チャンネル数: 2ch ・サンプリングレート: 16bit/24bit、32kHz/44.1kHz/48kHz 		
MPEG2 注6)	Video	<ul style="list-style-type: none"> ・ビットレート 標準解像度(720 x 480まで): 最大20Mbps 高解像度(1920 x 1080または1280 x 720): 最大35Mbps ・最大解像度 1920 x 1080 25p(プログレッシブ)、60i(インターレース) 1280 x 720 60p(プログレッシブ) 	注3) 注4)	.mpg .mpeg .m2p .m2v .ts .vob
	Audio	<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック MPEG-1 Audio layer 2、MPEG-2 Audio layer 2、 MPEG-1 Audio layer 3、MPEG-2 Audio layer 3 ・ビットレート Layer 2: 最大384kbps Layer 3: 最大320kbps ・チャンネル数: 2ch ・サンプリングレート 16bit/24bit、32kHz/44.1kHz/48kHz 		

注1) MP@HL (Main Profile, High Level): 1280x720 30p または 1920x1080 25p まで
以下は非対応です。

- ・Complex Profile
- ・インターレースモード
- ・WMV9 BETA エンコーダで作成したファイル
- ・WMV1 または WMV2

注2) MP@HL (Main Profile, High Level):1280x720 30p または 1920x1080 25p まで
AP@L3 (Advanced Profile, L3 Level):1920x1080 50iまたは1920x1080 25pまたは
1280x720 60p まで
以下は非対応です。

- ・Complex Profile
- ・WMV9 BETA エンコーダで作成したファイル
- ・WMV1 または WMV2

注3) MP@HL (Main Profile, High Level):1920x1080 25pまたは1920x1080 60iまたは
1280x720 60p まで

注4) ・著作権保護機能を含むファイルは再生できません。
・(動画ファイルサイズ(Byte)/再生時間(秒)) × 8bit > 最大ビットレートの動画は、
表示されません。

注5) Windows Media Audio Losslessで録音されたWMAファイルは非対応です。

注6) 記載されている仕様に対応していない動画ファイルはスキップされて次の動画ファイルが表示されます。他に表示できる動画ファイルがない場合はエラーメッセージが表示されます。また、Videoのコーデックが仕様に対応しており、Audioのコーデックが対応していない場合は、映像は表示されますが音声は出力されません。

注7) SDメモリーカードのフォーマットにより変わります。付属のメモリーカードはFAT16でフォーマットされています。

(2)静止画ファイル

種別	詳細	拡張子	解像度
JPEG	ベースラインJPEGに対応	.jpeg、.jpg	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚 / 画面のレイアウト 最大2047 x 2047ドット ・2枚 / 画面のレイアウト 最大1920 x 1080ドットまたは 最大1080 x 1920ドット
PNG	RGB 24 bit formatに対応	.png	
BMP	24bpp (ビット/ピクセル)に対応 8bpp、16bpp、32bppは非対応	.bmp	

(3)音声ファイル

種別	詳細	拡張子
MP3	<ul style="list-style-type: none"> ・コーデック MPEG-1 Audio layer 2、MPEG-2 Audio layer 2、 MPEG-1 Audio layer 3、MPEG-2 Audio layer 3 ・ビットレート Layer 2: 最大384kbps Layer 3: 最大320kbps ・チャンネル数: 2ch ・サンプリングレート 16bit/24bit、32kHz/44.1kHz/48kHz 	.mp3

ソフトウェアの著作権などに関する情報

本商品にはオープンソースソフトウェアが含まれています。オープンソースソフトウェアの使用条件については、下記を参照ください。また、各オープンソースソフトウェアの公式ホームページも参照してください。

お知らせ

“ソフトウェアの著作権などに関する情報”はユーティリティディスクの“Software license information.pdf”にあります。

GNU Lesser General Public License (“GNU LGPL”):(ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.3 ~ p.16)

- ・DirectFB

GNU General Public License version 2 (“GNU GPL v.2”):(ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.17 ~ p.26)

- ・The Linux operation system kernel
- ・BusyBox
- ・FreeType
- ・Wget
- ・Linux fusion
- ・Dosfstools

下記ソフトウェアのライセンスについては以下のページをご覧ください。

- ・Intel® SDK for UPnP™ Devices (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.27)
- ・Net-SNMP (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.28 ~ p.34)
- ・Thttpd (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.35)
- ・Pure-FTPd (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.36)
- ・Libjpeg (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.37 ~ p.39)
- ・Libpng (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.40 ~ p.43)
- ・TinyXML (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.44)

下記ソフトウェアのコピーライトについては以下のページをご覧ください。

- ・Ntpdate (ソフトウェアの著作権などに関する情報 p.45)

上記ソフトウェアの著作権はそれぞれの所有者にあります。

本商品にはGPL/LGPL適用ソフトウェアを使用しており、お客様には該当するソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。ソースコードの入手については下記URLを参照してください。

<http://www.coretronic.com/digisign/691/index.html>